



漏水防止講座（第3回：8月21日～23日）

漏水防止業務に従事する技術職員の方々56名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題、これからの漏水防止」、「漏水防止作業」、「漏水探査技術」について講義があり、3日目には、漏水防止関連機器を使つての現地研修を行った。

水道事業管理職事務研修会（東京会場：8月22日～23日、大阪会場8月29日～30日）

水道事業に従事する事務系管理職またはこれを補佐するの方々（東京会場：62名、大阪会場：60名）の参加を得て、「水道事業の現状と課題」、「水道事業における危機管理—水質及び管路事故を中心に—」、「水道事業の会計制度と財政の現状について」、「地方公営企業制度等の見直しについて」、「地震等緊急時対応の手引きの改訂について」について研修を実施した。

配管設計講習会（中国四国会場：8月28日～30日、東北会場：9月11日～13日）

水道事業体職員及び設計業者の方々（中国四国会場：49名、東北会場：50名）の参加を得て、「最近の水道界の動向」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路の製図演習」、「管路の積算演習」について研修を実施した。

未納料金対策実務研修会（東京会場第2回：9月5日～6日、

大阪会場第2回：9月12日～13日）

料金徴収業務に携わるの方々（東京会場第2回：80名、大阪会場第2回：80名）の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

第35回 IWA 国内委員会（8月27日）

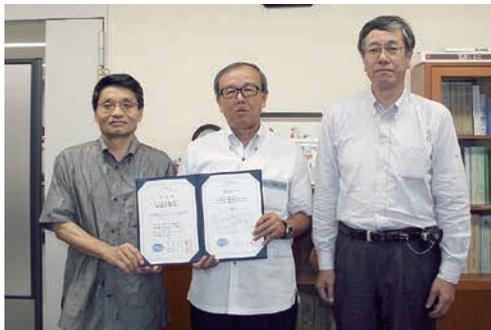
はじめに報告事項として、IWA 国際会議の開催状況について、続いて IWA-ASPIRE Council（韓国大田）での議題、2018年 IWA 世界会議の東京招致活動及び IWA イスタンブール理事会における議題について報告を行った。

その後、現委員が9月末をもって任期が満了するため、今後の体制について審議を行い、日本水道協会及び日本水環境学会それぞれで新委員の委嘱手続きを進めることを確認した。



水道 GLP 認定証授与式

水道 GLP 認定委員会で認定及び認定の更新が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



8月27日

柏崎市ガス水道局
(認定番号：JWWA-GLP051)



9月2日

(株)江東微生物研究所環境分析センター
(認定番号：JWWA-GLP098)

第6回耐震技術検討専門委員会（9月3日）

①耐震設計アドバイザー制度の試行、②耐震設計事例集の作成、③耐震設計の手引の作成について審議検討を行った。

耐震設計アドバイザー制度については、平成25年度は1事業体を対象にアドバイス業務を試行的に実施する予定であり、次年度以降、試行結果について検証したうえで課題等を整理し、本格実施に向けた制度の検討を行うこととなった。また、耐震設計事例集および耐震設計の手引は平成25年度内の完成を目的に、いずれも検討を継続することとなった。

第676回抄録委員会（9月4日）

横浜市水道局において開催し、当該水道事業者が行う国際貢献・水ビジネス活動について、ご講義いただいた。

その後、本誌12月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

第33回水道施設に関する規格専門委員会（9月5日）

水道用バルブ類8規格 [JWWA B 103（地下式消火栓）、B 121（大口徑バタフライ弁）、B 122（ダクタイトル鑄鉄仕切弁）、B 126（補修弁）、B 131（歯車付仕切弁）、B 135（ボール式単口消火栓）、B 137（急速空気弁）、B 138（バタフライ弁）] について、接水部材料に鉛レス銅合金を追加する主旨（B 138は弁体の金属シート取付方法の追加）の規格改正に関して、第2回目の委員会を開催し解説案の審議を行った。また、JWWA B 120（水道用ソフトシール仕切弁）について、接水部材料への鉛レス銅合金の追加及びGX形の接合形式を追加する

主旨で規格改正の審議を行った。

委員会でまとめた上記9規格の規格改正案は、後日、公開縦覧を行い11月に開催される工務常設調査委員会に諮ることとした。

平成25年度第2回運営会議（9月5日）

副会長である浅利豊中市長が議長となり、報告事項1「平成26年度水道関係予算の概算要求」について、厚生労働省、総務省から説明があったのち、報告事項2「平成25年度全国会議（郡山市）特別企画」、報告事項3「水道耐震化推進プロジェクトの取組状況」、報告事項4「平成24年度水道賠償責任保険等の実績」について、事務局から説明があった。



続いて、第1号議案「平成26年度水道関係予算の要望」、第2号議案「日本水道協会第83回総会会員提出問題」がそれぞれ上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、衆議院議員会館、参議院議員会館、財務省に対し陳情を行った。

水道協会雑誌平成25年8月号掲載記事の訂正について

本誌平成25年8月号に掲載いたしました「発行図書目録」につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

<正>

| | | 一般販売価格 | 会員割引価格 | 送料 |
|---------------------------|-------|--------|--------|------------|
| 水道事業における地方公営企業会計制度見直しの手引き | 平成25年 | 4,000 | 3,200 | <u>450</u> |

<誤>

| | | 一般販売価格 | 会員割引価格 | 送料 |
|---------------------------|-------|--------|--------|------------|
| 水道事業における地方公営企業会計制度見直しの手引き | 平成25年 | 4,000 | 3,200 | <u>340</u> |